

# 防火会報 2012

(社)田川地区防災協会

NO.38

- 発行 社団法人 田川地区防災協会
- 発行人 平田 篤三郎
- 印刷 栢川崎印刷 ☎42-8420

毎月1日は  
防災の日です



社田川地区防災協会シンボルマーク



[香春岳を上空から望む]  
写真提供 香春鉱業株

主な  
記載記事

通常総代会	3
火災と救急の概要	4
実施した防災事業	5

●平成23年度 全国統一防火標語

## 消したはず 決めつけしないで もう一度

●平成23年度 危険物安全推進標語

## 危険物 無事故のゴールは 譲れない!

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます



社団法人  
田川地区防災協会  
会長 平田 篤三郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます

平成24年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様方におかれましては、平素から当協会の運営に対して格別のご支援とご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、世界各国が深刻な経済不況に陥っている中で、3月11日に東日本大震災が発生し、津波が大切な命や財産とともに、日本全土から笑い声を奪い去ってしまいました。

しかし、日本国民は現実を正面から受け止め、社会秩序を乱すことなく、復興への道を邁進しております。

田川地区防災協会は、いち早く、義援金を送り、復興支援を行いました。

このような情勢の中で、我々の住む田川地区においても、公共事業の縮小や中小企業の事業縮小及び廃業等により、当協会の会員数も年々減少しています。

しかしながら、田川地域における防災に関する唯一の民間団体として、今回の震災を機に、これまでの活動の見直しの必要性を感じております。

災害弱者といわれる老人を火災から守るという観点から、昨年はひとり暮らしのお年寄りのお宅の防火診断を実施いたしました。

災害時に各団体と連携し、活動することも重要ですが、身近なところからの防災への取り組みも大切だと考えます。

「災害のない安全なまちづくり」を目指して自主防災の確立と防災思想の普及啓発の推進に努めていく所存であります。

終わりにになりましたが、会員の皆様のお健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



田川地区消防本部  
消防長 山田 昇

平成24年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

社団法人田川地区防災協会会員の皆様方におかれましては、平素から消防行政にご理解、ご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

さて、災害について昨年は振り返りますと、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、大地震、大津波、原発事故という過去に例をみない災害をもたらし、日本全土を震撼させました。

この震災の地へ田川地区消防本部からも5名の職員を派遣し、緊急消防援助隊福岡県隊として現場活動を行ってまいりました。

また、9月には台風12号による大雨被害により紀伊半島で死者・行方不明者が90人を超え、台風災害としては平成の時代では最悪となりました。

地域住民の生命、身体及び財産を災害から守る立場である我々常備消防は、地球規模で発生している異常気象に起因して発生する大規模な自然災害と、多種多様化していく近代

建築物で発生する火災への対応を求められています。

このように、常備消防を取り巻く環境は、年々厳しくなっております。住民の期待に応えるため、日々努力しておりますが、一旦大規模災害が発生した場合には、我々の力だけでは限界があります。

田川地区唯一の防災活動団体である田川地区防災協会の協力を得ることとて、官民一体となった防災体制の確立ができればと考えております。

有事の際には、昨年の流行語となった「絆」という言葉を胸に刻み込んで、田川地区防災協会会員の皆様とともに、地域に密着した現場活動を行う所存であります。

管内における災害につきましては、平成23年中火災が96件発生し、救急出動が8,216件発生いたしました。これは、昨年と比較しまして、火災は4件の減少、救急出動件数は255件の増加となっております。

消防本部といたしましては、昨今の厳しい財政状況のもとで、消防力と住民サービスを維持しつつ、地域住民の期待にこたえるよう消防行政の推進に全力をあげて取り組んでまいりますので、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のお健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

田川地区防災協会



- 平成二十三年通常総代会は、多数の来賓を迎え開催されました。議決された内容は次のとおりです。
- 一 平成二十二年事業報告について
  - 二 平成二十二年社団法人田川地区防災協会収支決算の承認について
  - 三 平成二十二年事業計画について
  - 四 平成二十三年度社団法人田川地区防災協会収支予算について
  - 五 役員を選任について

# 通 常 総 代 会

平成23年度の通常総代会が、平成23年5月24日(火)ザ・プリティッシュヒルズにおいて開催されました。平成22年度収支決算などの上程された議案はすべて議決されました。また、議案審議に先立ち防災功勞による表彰の伝達も行われました。

防災功勞表彰を受けられた方は次のとおりです。

## 特別表彰

(会長表彰)

- 松崎 義秋 (前理事)
- 平原日出夫 (前理事)
- 高嶋 康弘 (前理事)
- 立花 久生 (前監事)

## 防災功勞表彰

(会長表彰)

- ### 防火優良事業所
- 添田液化ガス事業協同組合
  - 医療法人恵和会 田川慈恵病院
  - 上野焼協同組合
  - 大森鉄工 株式会社
  - 城戸鉄工 株式会社
  - 宝見自動車工業 有限会社
  - 昭和住宅 株式会社
  - 有限会社 都市計画
  - 番田地区
  - 香田染工 有限会社
  - 郵便局株式会社 猪位金郵便局

社会福祉法人 添寿会  
特別養護老人ホーム 添寿園

## 優良危険物取扱者

- 西村 裕喜 (西村石油 有限会社)
- 古賀 和彦 (株式会社谷口石油)
- 八城 秀子 (松原商事 有限会社)
- 長尾 勝己 (金沢石油 株式会社)
- 梅田ミツ子 (有限会社 油須原石油店)

今磯 尊弘

- (株式会社 秋元商会ラッキー石油)
- 田村 聡 (田村石油 株式会社)
- 竹畑 満裕 (株式会社サンキョウ)

## 優良消防設備業者

- 有限会社 共栄設備
- 平山電気 株式会社
- 有限会社 九州設備工業
- 有限会社 畠田建設
- 有限会社 香英住設

## 優良消防設備士

園 豊司

- (株式会社 筑豊電気計装)
- 河西 秀人 (株式会社 巽工業)

## 優良防火管理者

- 大内 孝次 (社団法人 田川医師会)
- 吉田 泰子 (特別養護老人ホーム 第一長寿園)

## 優良業務主任者

- 洲濱 祐一 (マル牛ガス筑豊西三削田営業所)
- 大久保 洋一 (尚池田商会)

今年度新たに選任された役員は次のとおりです。(順不同敬称略)

## 理事

- 村上 和隆 (伊田商店街振興組合)

## 監事

- 花村 豊秀 (位登産業株)

## 福岡県消防設備安全協会から役員表彰を受賞

当協会の平田俊成理事(機水交舎)が、福岡県消防設備安全協会から、永年尽力された功績が認められ、役員表彰を受賞しました。



# 火災



(平成23年中)

# 田川地区の火災・救急概要

平成23年中の火災件数は96件であり、昨年の100件と比較すると、4件の減少になります。

火災による損害額は、81,452千円で、前年と比べて33,131千円の減少となっており、損害額の97%は建物火災によるものです。出火原因は、放火が16件と最も多く、第2位はたばこたき火がそれぞれ5件となっています。

特にたき火については、毎年上位を占めており、その場を離れず、たき火の後始末を確実にすることが必要です。

順位	出火原因											不明(調査中を含む)			
	1	2	2	4	4	6	6	6	9	9	9		9		
順位	放火(疑い含む)	たばこ	たき火	火入れ	焼却炉	火遊び	電気機器	電灯・電話等の配線	ストーブ	衝突の火花	電気装置	マッチ・ライター	その他	不明(調査中を含む)	
合計	96	16	5	5	3	3	2	2	2	1	1	1	1	25	29

■火災の前年比較表

区分		平成22年中	平成23年中	増減
火災	件数	100件	96件	-4件
焼損面積	建物	2,623㎡	2,476㎡	-147㎡
	林野	42a	7a	-35a
焼損棟数	59棟	51棟	-8棟	
り災世帯数	41世帯	43世帯	2世帯	
り災者数	88人	81人	-7人	
死者	2人	6人	4人	
負傷者	5人	7人	2人	
損害額	114,583千円	81,452千円	33,131千円	
全火災の1件当りの損害額	1,146千円	849千円	-297千円	
建物火災1件当り	焼損面積	57㎡	60㎡	3㎡
	損害額	2,428千円	1,928千円	-500千円
1ヶ月当りの火災件数	8.3件	8件	-0.3件	
出動人員(延)	982人	1,148人	166件	
備考	平成23年中の火災件数及び損害額(内訳)			
	建物	41件	79,043千円	
	林野	2件	0千円	
	車両	12件	2,200千円	
	その他	41件	209千円	
	(爆発)	0件	0千円	

■救急の前年比較表

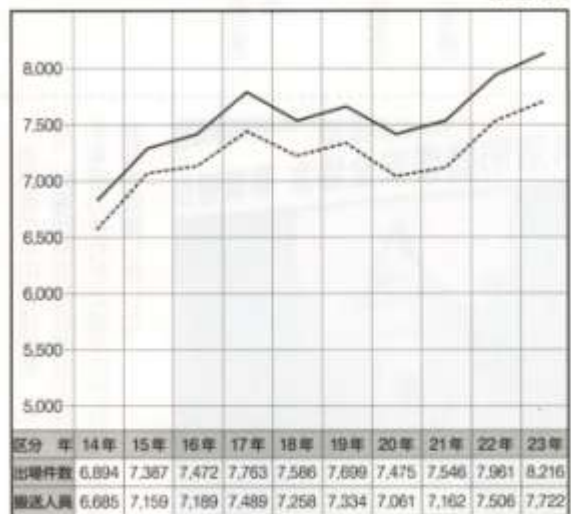
区分	年	前年対比			平成23年救急出場別	
		平成22年	平成23年	増減		
出場件数		7,961	8,216	255	平成23年救急出場別	
救急件数		7,421	7,628	207		
搬送人員		7,509	7,722	213		
救急出場件数	事故別	平成22年	平成23年	増減	構成率%	順位
	急病	4,783	5,028	245	61.20%	1
	転院	1,158	1,184	26	14.41%	2
	一般負傷	907	976	69	11.88%	3
	交通事故	519	517	-2	6.29%	4
	その他	389	339	-50	4.13%	5
	自損行為	85	92	7	1.12%	6
	加害	41	28	-13	0.34%	7
	労働災害事故	40	27	-13	0.33%	8
	運動競技事故	29	10	-19	0.12%	9
	水難事故	5	8	3	0.10%	10
	火災	5	7	2	0.09%	11
	自然災害事故	0	0	0	0.00%	
一日平均件数		21.8	22.5			

# 救急

平成14年以降、10年間の救急件数の推移は下表のとおりであります。

1日平均では22.5件の出場件数になっています。

——— 出場件数  
 ..... 搬送人員



平成23年中

# 実施した防災事業

災害の未然防止を図るために、消防機関と協力して本年も各種事業を実施しました。  
ひとりでも多くの人と防災の輪を広げ、明るく住みよい安心して暮らせる田川を目指して活動しています。

## 防火診断を実施

当協会では、昭和53年から昨年まで一人暮らしのお年寄りの家庭に、住宅用火災警報器を贈っていましたが、全国的に設置義務が生じたことから、今年度は一人暮らしのお年寄りの家庭の防火診断を行いました。



防火診断では、ガスコンロや石油ストーブ等の火気の取り扱いや、コンセントのタコ足配線等について点検を行いながら、世間話を交えて火災予防についての話をしました。

防火診断後、防災グッズ（ラジオ付懐中電灯、手巻き式携帯電話充電器等が入った非常用持出し袋）を贈りました。



## 危険物取扱者試験受験準備講習会を実施

当協会では、毎年3回実施される危険物取扱者試験の受験者を対象とした準備講習会を実施しています。  
平成23年の受講者は、次のとおりです。

- 2月6日(日) 15名
- 5月29日(日) 16名
- 11月6日(日) 35名

## 役員視察研修

平成23年度の視察研修は、11月13日に実施し、9名の役員と事務局4名が参加しました。

今年度は、佐賀県の「玄海エネルギーパークと旧高取邸」を見学しました。昨年3月11日に発生した東日本大震災において、福島第1原発が被災したことにより、原子力発電所の安全性に関心が高まったことから、今回の視察地が決定しました。

玄海エネルギーパークでは、原子力発電の仕組みを学びました。  
また、訓練センターでは、事故発生時のシミュレーション訓練等が定期的

に行われていること知ることができました。

## 火災予防運動を協賛

3月・11月

当協会では、春季及び秋季の火災予防運動の協賛を行なっています。  
ショッピングセンターでのチラシ配布による火災予防啓発を行ないました。その後、防火演奏を行なった幼稚園に記念品を贈りました。



## 被災地へ義援金を送付

当協会では、3月11日に発生した東日本大震災の被災地へ日本赤十字社を通じて義援金として十万円を送付し、復興支援を行いました。

# お知らせ

平成24年度の各種資格取得試験及び講習の予定をお知らせします。会場都合により変更する場合があります。消防本部予防課内の事務局で確認して下さい。

## ●危険物取扱者試験

第1回 平成24年6月17日(予定)  
願書受付期間

4月中旬から5月上旬まで  
第2回 平成24年11月25日(予定)  
願書受付期間

9月中旬から9月下旬まで  
第3回 平成25年2月24日(予定)  
願書受付期間

12月中旬から1月上旬まで  
協会では、それぞれの試験日にあわせて、丙種及び乙種4類の試験準備講習会を実施する予定です。

## ●消防設備士試験

第1回 福岡市 平成24年7月15日(予定)

第2回 北九州市 平成24年8月5日(予定)

第3回 福岡市 平成24年12月16日(予定)

## ●危険物取扱者保安講習

平成24年10月中旬頃

会場は、直方市を予定しています。受講者はいずれかの日に3時間の受講が必要です。危険物取扱作業に従事している次のような人が受講対象となります。

- ①免状の交付を受けた日から3年
- ②前回の講習を受けた日から3年
- ③新たに取扱作業に従事することになった人

※危険物取扱作業に従事していない人は受講の必要はありません

## ●消防設備士法定講習

10月中旬頃 消防設備 1日  
警報設備 1日

会場は、田川地区消防本部を予定しています。

- ①受講対象者は、次のとおりです。
- ②消防設備士免状の交付を受けた日から5年以内の人
- ③前回の講習を受けた日から5年以内の人

## ●防火管理講習会

消防法により建物の所有者などの管理権原者は、火災から人命を守るために防火管理者を定め、防火管理業務を行わせなければなりません。この防火管理者の資格は、2日間の講習を受けることにより取得できます。

- ①田川地区消防本部 平成24年7月頃
- ②直方市中央公民館 平成24年9月26日・27日
- ③筑豊ハイツ 平成25年2月5日・6日

# 救急安心カード

このカードを携帯し、救急車を要請する際は、このカードを救急隊員に提示して下さい。このカードは個人情報が入っており、緊急時には必ず携帯して下さい。

●救急車を呼ぶかどうか迷ったときは？  
消防署に連絡してください。 ☎ 44-0650

●夜間における子どもさんの急病などで悩んだときは？  
福岡県小児救急医療電話相談 ☎ #8000

●平日(夜間)・休日・夜間に悩んだときは？  
田川地区急患センター ☎ 45-7199

氏名	由川 太 郎
生年月日	昭和20年11月28日
住所	福岡県田川市大字川宮1570番地
職業	専業主婦
アレルギー	アレルギーなし
その他	

田川地区消防本部からのお知らせ  
筑豊地区の救急隊は、「救急安心カード」の普及を行っています。

救急車を要請する時は、みなさん慌てていますので、この「救急安心カード」にかかりつけの病院や緊急連絡先等をあらかじめ記入して、冷蔵庫に磁石などで留めておくことと救急隊が必要な患者情報を得ることができ、円滑な救急活動ができます。

この「救急安心カード」は、田川地区消防本部のホームページからダウンロードできます。詳細は、田川地区消防本部警防課までお尋ねください。

また、このカードには急患センターの受診時間等が印刷されているため、救急車の適正利用に役立ててください。



**田川地区防災協会**  
へのお問合せ  
社田川地区防災協会事務局  
田川市大字川宮1570番地  
田川地区消防本部予防課内  
☎0947-44-0650(内線133)  
☎0947-44-6256(直通電話)

# 編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

この会報も今回で第38号となりました。会報発行にあたり会員の皆様にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

事務局長 寿浦 一成      事務局 蛸川 朋之  
事務局 田中 良幸      事務局 養父 千栄